

# I. 業績

## 1. 健康科学部門

### 吉川 弘明

#### 学内委員会など

- ・ 金沢大学産業医
- ・ 金沢大学附属病院安全衛生委員会委員
- ・ 金沢大学安全衛生マネジメント委員会委員
- ・ 金沢大学感染症予防・対策委員会委員
- ・ 金沢大学学生生活部会委員
- ・ 禁煙キャンペーンWG 座長

#### 学内での教育活動

- ・ 導入科目 大学社会生活論「健康論」(前期、角間) 3クラス担当
- ・ 総合科目c(自分を知る・他者を知る) 健康論実践A-生活習慣病予防を食事から考える-(前期前半、角間) 5/7.5コマ担当
- ・ 総合科目c(自分を知る・他者を知る) 健康論実践B-救急蘇生と安全な大学生活-(前期後半、角間) 5/7.5コマ担当
- ・ 総合科目c(自分を知る・他者を知る) 健康論実践D-生活習慣病予防を食事から実践する-(後期後半) 2/7.5コマ担当
- ・ テーマ別科目c(自分を知る・他者を知る) 基本の調理(後期前半) 2/7.5コマ担当
- ・ テーマ別科目c(自分を知る・他者を知る) 心と体の健康(後期) 15/15コマ担当
- ・ テーマ別科目c(自分を知る・他者を知る) 健康心理学(前期、角間) 3/15コマ担当。
- ・ 医薬保健学域薬学類 臨床心理学(前期前半、角間) 1/7.5コマ担当。
- ・ 医薬保健学域医学類 神経内科(前期、宝町) 1/7.5コマ担当。

#### 学内での医療活動

- ・ 附属病院神経内科外来担当(水曜日午前)
- ・ 附属病院セカンド・オピニオン外来担当(重症筋無力症)
- ・ 保健管理センター本部、南分室、宝町分室

#### 学内講演

- ・ 2012.1.5, 10, 17, 18, 19, 24 緊急メンタルヘルス研修会(自殺対策)
- ・ 2012.2.15 サークルリーダー研修会
- ・ 2012.2.23 平成23年度学生相談連絡会主催学生相談勉強会「学生の自傷他害について」

#### 学会発表

- ・ Yamamoto M, Yoshikawa H, Adachi Y. Student Health Care on Campuses in Japan: The Approach to Care for the Japanese College Student. ACHA 2012 Annual Meeting, Chicago, May 28-June 1, 2012
- ・ 吉川弘明: 呼吸器感染症とキャンパスライフ ~肺結核から新型インフルエンザまで~ 予防と対応-大規模大学の現況- 平成24年度第50回全国大学保健管理協会東海・北陸地方部会研究集会 平成24年7月26日 福井市
- ・ 宮崎節子, 田上芳美, 池田美智子, 亀田真紀, 伊藤大輔, 坪川俊成, 清水美保, 足立由美, 吉川弘明, 小泉順二: 流行性耳下腺炎の抗体価の推移 -健康調査の罹患歴・予防接種歴-. 第50回全国大学保健管理研究集会、神戸、2012.10.17-18.
- ・ 足立由美, 吉川弘明, 宮崎節子, 田上芳美, 池田美智子, 亀田真紀, 柿本晴美, 伊藤大輔, 坪川俊成, 清水美保, 小泉, 順二: 自殺予防のためのポストベンション 学生へのメッセージと教職員研修の効果。第50回全国大学保健管理研究集会、神戸、2012.10.17-18.

- ・ 岩佐和夫, 吉川弘明, 古川 裕, 本崎裕子, 山田正仁: 重症筋無力症骨格筋における GRP78 mRNA の発現亢進。第 24 回日本神経免疫学会学術集会、軽井沢、2012. 9. 20-21.
- ・ 小林星太, 横山 茂, 丸田高広, 室山明子, 光本泰秀, 岩佐和夫, 山田正仁, 吉川弘明: ニコチン性アセチルコリン受容体  $\alpha 3$  サブユニットに対する自己抗体による受容体機能障害機序の検討。第 24 回日本神経免疫学会学術集会、軽井沢、2012. 9. 20-21.

#### 研究会・班会議等

- ・ 吉川弘明, 丸田高広, 足立由美, 根上昌子, 岩佐和夫, 山田正仁: 能登半島地震が神経難病患者 (MG/MS 等) へ及ぼした心理的影響。厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 免疫性神経疾患に関する調査研究班班、平成 23 年度研究報告会、東京、2012. 1. 25-26.
- ・ 吉川弘明, 岩佐和夫, 丸田高広, 古川 裕, 本崎裕子, 山田正仁: 重症筋無力症における血清 GRP78 濃度。厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 免疫性神経疾患に関する調査研究、平成 23 年度研究報告会、東京、2012. 1. 25-26

#### 学会・研究会における特別講演・招待講演・教育講演

- ・ 吉川弘明: 胸腺摘除術の過去・現在・未来。第 7 回小児重症筋無力症研究会、札幌、2012. 5. 19
- ・ 吉川弘明: 重症筋無力症における最近の臨床試験。第 53 回日本神経学会学術大会 教育講演、東京、2012. 5. 22-25
- ・ 吉川弘明: 拡大胸腺摘除術の適応。第 53 回日本神経学会学術大会 シンポジウム 重症筋無力症: 臨床の問題点とその解決法、東京、2012. 5. 22-25
- ・ 吉川弘明: 重症筋無力症をみるために 重症筋無力症の病態生理学。第 24 回日本神経免疫学会学術集会 モーニングセミナー、軽井沢、2012. 9. 20-21
- ・ 吉川弘明: プログラム「重症筋無力症」適応拡大 3 周年記念講演会。重症筋無力症に対するタクロリムス治療の経緯と現状。プログラム「重症筋無力症」適応拡大 3 周年記念講演会、仙台、2012. 11. 3
- ・ 吉川弘明: 重症筋無力症治療の現状と展望。第 66 回国立病院総合医学会 ランチョンセミナー、神戸、2012. 11. 16

#### 学会における貢献

- ・ 全国大学保健管理協会 理事 評議員 機関誌「CAMPUS HEALTH」副編集長
- ・ 国立大学法人保健管理施設協議会 理事 国際交流特別委員会 副委員長、食と心身の健康に関する調査研究班 班員
- ・ 日本神経学会 専門医 指導医
- ・ 専門医認定委員会専門委員、第 53 回日本神経学会学術大会年次学術委員会委員、重症筋無力症診療ガイドライン作成委員会委員
- ・ 日本神経免疫学会 評議員 新規治療・保険委員会委員
- ・ 日本神経治療学会 評議員
- ・ 全国大学メンタルヘルス研究会 会員
- ・ 日本内科学会 認定医
- ・ 日本神経心理学会 会員
- ・ 日本感染症学会 会員
- ・ 日本産業衛生学会 会員
- ・ 日本公衆衛生学会 会員
- ・ 日本健康心理学会 会員
- ・ 日本教育心理学会 会員
- ・ 米国大学保健管理学会 (American College Health Association) 会員
- ・ 米国神経学会 (American Academy of Neurology) 会員

#### 学会論文査読

2012 (平成 24) 年

- ・ 英文誌 7 編
- ・ 和文誌 3 編

## 研究助成等

- ・ 吉川弘明：文部科学省／日本学術振興会・平成24年度科学研究費 基盤研究(C)『神経型アセチルコリン受容体を標的とした自己免疫性神経疾患』・研究代表者
- ・ 吉川弘明：厚生労働省・難治性疾患克服研究事業『免疫性神経疾患に関する調査研究』班(一般型)・研究分担者(研究代表者・楠 進)
- ・ 吉川弘明：厚生労働省・成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業『母子保健事業の効果的実施のための妊婦健診、乳幼児健診データの利活用に関する研究』班(一般型)・研究分担者(研究代表者・山縣 然太郎)
- ・ NIH/NINDS MGTX study, Principal Investigator of Kanazawa University

## 論文・報告書等

### (報告書)

- ・ 足立由美, 吉川弘明, 宮崎節子, 田上芳美, 池田美智子, 亀田真紀, 柿本晴美, 清水美保, 内山勝晴, 小泉順二：きっかけづくりとチーム支援による学生相談対象の拡大。CAMPUS HEALTH 49: 331-332, 2012 (会議録)
- ・ 足立由美, 吉川弘明, 宮崎節子, 田上芳美, 池田美智子, 亀田真紀, 柿本晴美, 伊藤大輔, 坪川俊成, 清水美保, 小泉順二：自殺予防のためのポストベンション 学生へのメッセージと教職員研修の効果。CAMPUS HEALTH 49: 110, 2012 (会議録)
- ・ 池谷直樹, 鈴木眞理, 馬場久光, 鎌野 寛, 大塚盛男, 富樫 整, 吉川弘明, 山本眞由美, 立身政信：留学生に対する健康支援に関するアンケート調査報告(国立大学保健管理施設協議会国際交流特別委員会)。CAMPUS HEALTH 49: 173-175, 2012 (会議録)
- ・ 池田美智子, 宮崎節子, 田上芳美, 柿本晴美, 芦原百合子, 高 紀子, 亀田真紀, 内山勝晴, 清水美保, 足立由美, 吉川弘明, 小泉順二：大学院生における留学生と日本人学生の感染症抗体検査の推移。CAMPUS HEALTH 49:419-421, 2012 (会議録)
- ・ 岩佐和夫, 吉川弘明, 古川 裕, 本崎裕子, 山田正仁：MG/HAM 重症筋無力症骨格筋におけるGRP78 mRNA の発現亢進。日本神経免疫学会学術集会抄録集 24: 70, 2012 (会議録)
- ・ 小林星太, 横山 茂, 丸田高広, 室山明子, 光本泰秀, 岩佐和夫, 山田正仁, 吉川弘明：末梢神経 ニコチン性アセチルコリン受容体 $\alpha 3$ サブユニットに対する自己抗体による受容体機能障害機序の検討。日本神経免疫学会学術集会抄録集 24: 78, 2012

### (論文)

- ・ Imai T, Tsuda E, Hozuki T., Yoshikawa H, Yamauchi R, Saitoh M, Hisahara S, Motomura M, Kawamata J, Shimohama S. Contribution of anti-ryanodine receptor antibody to impairment of excitation-contraction coupling in myasthenia gravis. Clin Neurophysiol 123:1242-1247, 2012
- ・ Imai T, Tsuda E, Hozuki T, Yamauchi R, Saitoh M, Hisahara S, Yoshikawa H, Motomura M, Kawamata J, Shimohama S. Early effect of tacrolimus in improving excitation-contraction coupling in myasthenia gravis. Clin Neurophysiol 123:1886-1890, 2012
- ・ Yoshikawa H. Recent clinical trials on treatment of myasthenia gravis. Rinsho Shinkeigaku. 2012;52(11):832-5. (Japanese, English Abstract)
- ・ Yoshikawa H. Indication of extended thymectomy in patients with myasthenia gravis. Rinsho Shinkeigaku. 2012;52(11):1053-5. (Japanese, English Abstract)
- ・ 宮田正和, 五味 慎太郎, 藤井義博, 苗村育郎, 吉川弘明, 久保田 稔, 吉原正治, 社団法人全国大学保健管理協会会誌等編集委員会：「東日本大震災と大学」についてのアンケート集計結果報告。CAMPUS HEALTH 49: 157-167, 2012

### (教科書執筆)

- ・ 吉川弘明：健康論-健康生活のすすめ。金沢大学「大学・社会生活論」テキスト編集会議(編)知的キャンパスライフのすすめ-スタディ・スキルズから自己開発へ- 第3版。学術図書出版社、東京、pp123-132, 2012

## 学外での教育活動

- ・ 吉川弘明：健康論(心と体の健康)。北陸大学薬学部、健康医療薬学演習、金沢、2012. 11. 2

- ・ 吉川弘明：医師がみた臨床試験—重症筋無力症を通して—。北陸大学薬学部、健康医療薬学演習、金沢、2012.11.22

#### 学外における社会貢献活動

- ・ 厚生労働省・難治性疾患対策研究事業「免疫性神経疾患に関する研究」班・分担研究者
- ・ 厚生労働省・成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業「母子保健事業の効果的実施のための妊婦健診、乳幼児健診データの利活用に関する研究」班・分担研究者
- ・ 難病情報センター情報企画委員 「重症筋無力症」担当
- ・ 日本多発性硬化症協会 医学顧問
- ・ Mayo Neuroscience Forum 幹事
- ・ 2012.3.11 田上新町餅つき大会への協力（学生クルーの指導）
- ・ 2012.8.4 田上新町夏祭りへの協力（学生クルーの指導）
- ・ 2012.10.6 杜の里まつりへの協力（学生クルーの指導）

#### 特許

- ・ 発明の名称：脳密度表示装置、脳密度測定方法、及びプログラム
- ・ 出願者：国立大学法人金沢大学
- ・ 出願番号：特願 2010-255231（2010.11.15）
- ・ 特許公開：2012-105734

## 足立 由美

#### 学内委員会など

- ・ 学生相談連絡会委員
- ・ 共通教育委員会 教務・学生委員会委員
- ・ 共通教育委員会・共通教育特設プログラム（健康・自己管理）検討WG委員
- ・ 障害学生支援委員会委員
- ・ 学生サポートガイドブック編集委員会委員
- ・ きいつけまっし編集委員会委員
- ・ 発達障害のある学生サポートガイドブック編集委員会委員（～2012年3月）
- ・ なんでも相談室相談員
- ・ ハラスメント相談員（助言者）
- ・ 学生支援のための情報集約検討WG委員（2012年1月～3月）
- ・ 学生支援システムの開発と運用WG委員（2012年8月～現在）
- ・ 自殺対策検討WG委員
- ・ 平成21年度社会技術研究開発事業研究開発プログラム「科学技術と社会の相互作用」による研究開発プロジェクト「自閉症にやさしい社会：共生と治療の調和の模索」の大学生早期発見・治療・支援研究グループメンバー（～2012年9月）

#### 学内での教育的活動

- ・ 「健康論」（共通教育「大学・社会生活論」・前期）4クラス、1/15コマ担当。
- ・ 「健康論実践 A—生活習慣病予防を食事から考える—」（共通教育特設プログラム健康・自己管理、前期）コーディネーター。「食事と心の健康」「調理実習」3/7.5コマ担当。
- ・ 「健康論実践 B—救急蘇生と安全な大学生活—」（共通教育特設プログラム健康・自己管理、前期）コーディネーター。「学生生活とメンタルヘルス」1/7.5コマ担当。
- ・ 「健康論実践 C—自己発見のためのグループワーク—」（共通教育特設プログラム健康・自己管理、前期）コーディネーター。7.5/7.5コマ担当。
- ・ 「健康論実践 D—生活習慣病予防を食事から実践する—」（共通教育特設プログラム健康・自己管理、後期）コーディネーター。「グループ発表」「調理実習」3/7.5コマ担当。

- ・ 「健康論実践 Eー自己発見のためのグループワークー」（共通教育特設プログラム健康・自己管理、後期）コーディネーター。7.5/7.5 コマ担当。
- ・ 「健康心理学」（共通教育特設プログラム健康・自己管理、前期）コーディネーター。15/15 コマ担当。
- ・ 「心と体の健康」（共通教育特設プログラム健康・自己管理、後期）「視覚の世界ー錯視と認知の問題ー」「私”とは何かー私はいつも”私”ー」2/15 コマ担当。
- ・ 「臨床心理学」（創薬科学類・前期）コーディネーター。「対人援助について」「自分を  
知ることの大切さ」2/8 コマ担当。
- ・ 「日本文化演習 I」（日本語・日本文化研修プログラム：留学生対象）「健康志向と自己意識」1/15 コマ担当。
- ・ 「教育実践基礎研究」（教育学研究科・前期）3/15 コマ担当。
- ・ 「学校教育心理演習 C（パーソナリティ心理学）」（教育学研究科・後期）15/15 コマ担当。
- ・ 2012.4.18 ランチョンセミナー「人間関係について考えよう2 カウンセラーの立場からー金大生は何を悩んでいるのか？ー」
- ・ 2012.4.19 ランチョンセミナー「人間関係について考えよう3 学生クルー活動の紹介ーグループ活動に参加してー」

#### 学内講演

- ・ 2012.1.5、10、17、18、19、24 緊急メンタルヘルス研修会（自殺への対応） 講師 計 7 回
- ・ 2012.2.15 平成 23 年度サークルリーダー研修会 講師「サークルにおけるリーダーシップについて」
- ・ 2012.2.23 平成 23 年度学生相談連絡会主催学生相談勉強会 講師「学生の自傷他害について」
- ・ 2012.4.4 平成 24 年度金沢大学新任教員 FD 研修会 講師「学生の心のケアおよび学生相談について」
- ・ 2012.4.6 平成 24 年度第 1 回学生相談研修会：なんでも相談員研修会講師「相談を受けるとき  
の基本的な態度について」
- ・ 2012.7.4 平成 24 年度ハラスメント相談研修会 講師「傾聴について」

#### 学会発表

- ・ 足立由美：「学生相談体制におけるピア・サポートの再検討」 日本学生相談学会第 30 回大会 於北海道大学 2012.5.19~21
- ・ Mayumi Yamamoto, Hiroaki Yoshikawa, Yumi Adachi : “ Student Health Care on Campuses in Japan: The Approach to Care for the Japanese Student Health - Education as a Liberal Art-.” 2012 American College Health Association Annual Meeting. Chicago, Illinois, May28 - June 1, 2012.
- ・ 足立由美：「金沢大学、メンタルヘルスの課題」全国大学保健管理協会 平成 24 年度東海・北陸地方部会 パネルディスカッション 1「事例にみる各大学のメンタルヘルスの課題」パネリスト 於アオッサ（福井）2012.7.26~27
- ・ 足立由美・吉川弘明：「自己管理能力、対人関係能力を高める体験型健康教育ー教育の内容、方法、評価の検討ー」日本健康心理学会第 25 回大会 於 東京家政大学 2012.9.1~2
- ・ 足立由美：「連携を前提とした学生相談の独自性と心理職の専門性ーアセスメントと予防教育ー」（自主シンポジウム 学生相談における心理職の専門性と独自性ー連携と実践の在り方ー）話題提供者 日本心理臨床学会第 31 回大会 於愛知学院大学 2012.9.14~16
- ・ 足立由美、吉川弘明、宮崎節子、田上芳美、池田美智子、亀田真紀、柿本晴美、伊藤大輔、坪川俊成、清水美保、小泉順二：自殺予防のためのポストベンションー学生へのメッセージと教職員研修の効果ー 第 50 回全国大学保健管理研究集会 於 ポートピアホール（神戸大学） 2012.10.17~18
- ・ 宮崎節子、田上芳美、池田美智子、亀田真紀、伊藤大輔、坪川俊成、清水美保、足立由美、吉川弘明、小泉順二：流行性耳下腺炎の抗体価の推移ー健康調査の罹患歴・予防接種歴ー 第 50 回全国大学保健管理研究集会 於 ポートピアホール（神戸大学） 2012.10.17~18

## 学会における貢献

- ・ 日本学生相談学会会員
- ・ 日本心理臨床学会会員
- ・ 日本健康心理学会会員
- ・ 日本教育心理学会会員
- ・ 日本公衆衛生学会会員
- ・ 米国大学保健管理学会 (American College Health Association) 会員
- ・ 石川県臨床心理士会 会計 (～2012年3月)

## 研究助成、学術賞等

- ・ 文部科学省・日本学術振興会・科学研究費 若手研究 (B) 「大学生に対する心と体の統合的成長支援プログラムの実証的研究」 (平成21-24年度) 主任研究者
- ・ 厚生労働省・成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業『母子保健事業の効果的実施のための妊婦健診、乳幼児健診データの利活用に関する研究』班 (一般型) ・研究協力者 (研究代表者・山縣 然太郎)
- ・ 日本学生相談学会 2012年度奨励賞 (実践活動奨励賞)

## 論文・報告書等

(報告書)

- ・ 足立由美、吉川弘明、宮崎節子、田上芳美、池田美智子、亀田真紀、柿本晴美、清水美保、内山勝晴、小泉順二：きっかけづくりとチーム支援による学生相談対象の拡大 全国大学保健管理協会 CAMPUS HEALTH Vol. 49 No.1 pp. 331-332 2012.2
- ・ 池田美智子、柿本晴美、高紀子、芦原百合子、田上芳美、宮崎節子、亀田真紀、清水美保、内山勝晴、足立由美、吉川弘明、小泉順二：大学院生における留学生と日本人学生の感染症抗体検査の推移 全国大学保健管理協会 CAMPUS HEALTH Vol. 49 No.1 pp.419-421 2012.2
- ・ 足立由美：学生相談の連携と協働ーネットワーク支援の事例ー 金沢学院短期大学 FD 委員会 第10回FD研修会報告書 pp. 5-22 2012.3
- ・ 鈴木健一・足立由美：学生のための聴き方 独立行政法人日本学生支援機構 メンタルヘルス研究協議会平成23年度報告書 pp. 92-93 2012.3
- ・ 丸田高広・足立由美・吉川弘明：高齢者の災害対策 金沢大学保健管理センター 金沢大学保健管理センター年報・紀要 No.4 pp.77-80 2012.3
- ・ 足立由美：金沢大学、メンタルヘルスの課題ー不登校への対応ー 全国大学保健管理協会平成24年度東海・北陸地方部会報告書 pp.26-27 2012.12

(論文)

- ・ 足立由美：「障がいの意味と理解ー学生へのサポートの立場からー」 金沢大学保健管理センター 金沢大学保健管理センター年報・紀要 No.4 pp.81-94 2012.3

## 学外講演

- ・ 2012.2.3 金沢美術工芸大学 FD 研修会講師「アカデミック・ハラスメント防止のために」於 金沢美術工芸大学
- ・ 2012.8.2 平成24年度石川県養護教員校種別研修会 中学校第1分科会助言者「学校全体の心の健康づくり」於 金沢商工会議所
- ・ 2012.8.10 金沢大学公開講座「心と体の健康-2012 ヒトの心を脳機能から見る」講師「錯視とアート (勘違いする脳)」1/2 コマ担当 於 金沢大学地域連携センター
- ・ 2012.12.3 富山県立黒部学園講演会講師「障害を知り、共に生きる」にいかわ総合支援学校 (富山)

## 学外における社会貢献活動

- ・ 2012.3.11 田上新町餅つき大会への協力 (学生クルーの指導)
- ・ 2012.5.23 杜の里まつりのミーティングに参加 (学生クルーの指導)
- ・ 2012.8.2 杜の里まつりのミーティングに参加 (学生クルーの指導)
- ・ 2012.8.4 田上新町夏祭りへの協力 (学生クルーの指導)
- ・ 2012.9.10 金沢市自殺防止対策ネットワーク会議に出席 於金沢市保健所駅西健康ホール
- ・ 2012.10.6 杜の里まつりへの協力 (学生クルーの指導)

## 伊藤 大輔

### 学内委員会など

- ・ 学生相談連絡会委員
- ・ ハラスメント相談員(助言者)
- ・ なんでも相談室相談員

### 学内での教育的活動

(学類)

- ・ 健康論(共通教育「大学・社会生活論」) 5クラス 2012 前期 1/15 担当
- ・ 健康論実践 B -産業におけるメンタルヘルス- 2012 前期 1/15 担当
- ・ 心と体の健康 -心のアートとサイエンス- 2012 後期 1/15 担当

(大学院-教育学研究科)

- ・ 教育実践基礎研究 2012 前期 3/15 担当
- ・ 教育臨床演習 B 2012 後期 5/15 担当

### 学会発表

(シンポジウム)

- ・ 丹野義彦, 佐藤寛, 松永美希, 田上明日香, 石川信一, 伊藤大輔 (話題提供) 2012 「心理士によるうつ病の認知行動療法のエビデンス」 第 38 回日本行動療法学会 大会企画シンポジウム 発表論文集, 57-59.

(ポスター発表)

- ・ 伊藤大輔, 中澤佳奈子, 加茂登志子, 氏家由里, 鈴木伸一, 金吉晴 2012 外傷後ストレス障害 (PTSD) 患者の外傷後ストレス症状と生活支障度の関連の検討 第 38 回日本行動療法学会大会発表論文集, 368-369.
- ・ 伊藤大輔, 巢山晴菜, 兼子唯, 田上明日香, 鈴木伸一, 熊野宏昭, 貝谷久宣 2012 認知行動療法を基盤とした復職支援プログラムがうつ病休職者の職場復帰への困難感に及ぼす効果 第 9 回日本うつ病学会総会プログラム, 抄録集, 185.
- ・ 伊藤大輔, 中澤佳奈子, 加茂登志子, 氏家由里, 鈴木伸一, 金吉晴 2012 PTSD 患者の症状と生活支障度に関連する要因の差異 -認知行動理論的観点からの検討- 第 4 回不安障害学会大会発表論文集, 134.
- ・ Suzuki, S., Tanoue, A., Shimizu, K., Ohno, M., Ito, D., Suyama, H., Yokoyama, S., Kunisato, Y., Okayama, N., & Son, S. 2012 Effect of reinforcement sensitivity on job satisfaction and stress responses. International journal of behavioral medicine, 19, (1), 258. Budapest, Hungary (September 2012).
- ・ 巢山晴菜, 兼子唯, 伊藤大輔, 貝谷久宣, 熊野宏昭, 鈴木伸一 2012 うつ病に対する集団認知行動療法における認知的介入でうつ症状の改善が認められた者と行動的介入で効果が認められた者の, 治療前に状態の検討 第 38 回日本行動療法学会発表論文集, 306-307.
- ・ 兼子唯, 巢山晴菜, 伊藤大輔, 貝谷久宣, 熊野宏昭, 鈴木伸一 2012 うつ病に対する集団認知行動療法におけるドロップアウトをする患者の治療前の状態に関する検討 第 38 回日本行動療法学会発表論文集, 302-303.
- ・ 横山仁史, 野田隆政, 小関俊祐, 国里愛彦, 伊藤大輔, 巢山晴菜, 杉村有司, 石原奈保子, 清水悠, 中澤佳奈子, 鈴木伸一 2012 ポジティブおよびネガティブな自動思考のバランスと脳機能の関連 -多チャンネル NIRS を用いた検討- 第 38 回日本行動療法学会発表論文集, 324-325.
- ・ 伊藤理沙, 巢山晴菜, 島田真衣, 伊藤大輔, 横山仁史, 貝谷久宣, 鈴木伸一 2012 社交不安障害患者の曖昧な場面に対する解釈が, 社交不安症状およびうつ症状に及ぼす影響 -肯定的解釈, 中性的解釈, 否定的解釈の相互的影響- 第 38 回日本行動療法学会発表論文集, 328-329.
- ・ 宣聖美, 清水馨, 田上明日香, 伊藤大輔, 巢山晴菜, 横山仁史, 国里愛彦, 鈴木伸一 2012 職場におけるストレス対処法が生産性, 仕事や生活への満足度に及ぼす影響 第 38 回日本行動療法学会発表論文集, 388-389.

- ・ 岡山紀子, 清水馨, 田上明日香, 伊藤大輔, 巢山晴菜, 横山仁史, 国里愛彦, 鈴木伸一 2012 職場の組織風土が精神的健康とポジティブ側面に与える影響 第 38 会日本行動療法学会発表論文集, 322-323.
- ・ 宮崎節子, 田上芳美, 池田 美智子, 亀田真紀, 伊藤大輔, 坪川俊成, 清水美保, 足立由美, 吉川弘明, 小泉順二: 流行性耳下腺炎の抗体価の推移 -健康調査の罹患歴, 予防接種歴-. 第 50 回全国大学保健管理研究集会、神戸、2012. 10. 17-18.
- ・ 足立由美, 吉川弘明, 宮崎節子, 田上芳美, 池田美智子, 亀田真紀, 柿本晴美, 伊藤大輔, 坪川俊成, 清水美保, 小泉, 順二: 自殺予防のためのポストベンション 学生へのメッセージと教職員研修の効果. 第 50 回全国大学保健管理研究集会、神戸、2012. 10. 17-18.

#### 学外における貢献

- ・ 日本行動療法学会 会員
- ・ 日本認知療法学会 会員
- ・ 日本心理学会 会員
- ・ 日本不安障害学会 会員
- ・ 日本トラウマティックストレス学会 会員
- ・ 日本ストレス学会 会員
- ・ 日本うつ病学会 会員
- ・ 日本学生相談学会 会員
- ・ 石川県臨床心理士会 会員

#### 研究助成等

- ・ 文部科学省 日本学術振興会 科学研究費 研究活動スタート支援 2012~2013 「外傷性ストレス体験者の否定的, 肯定的な認知や活動に着目した認知行動論的研究」 (代表者: 伊藤大輔)
- ・ 文部科学省 日本学術振興会 科学研究費 研究成果公開促進費 2012 「トラウマ体験者の外傷後ストレス症状に関する認知行動モデル」 (代表者: 伊藤大輔)

#### 論文, 報告書等

(書籍)

- ・ Ito, D., & Suzuki, S 2012 『Encyclopedia of Behavioral Medicine』 「Psychological Stress」 Springer.

(論文)

- ・ 伊藤大輔, 兼子唯, 巢山晴菜, 金谷順弘, 田上明日香, 小関俊祐, 貝谷久宣, 熊野宏昭, 鈴木伸一 2012 心理士による集団認知行動療法がうつ病患者のうつ症状の改善に及ぼす効果: 対照比較研究 行動療法研究, 38(3), 169-179.
- ・ 田上明日香, 伊藤大輔, 大野真由子, 白井麻理, 嶋田洋徳, 鈴木伸一 2012 うつ病休職者に対する心理士の集団認知行動療法がうつ症状、社会的機能、職場復帰の困難感に及ぼす効果 行動療法研究, 38(3), 193-202
- ・ 田上明日香, 伊藤大輔, 大野真由子, 白井麻理, 嶋田洋徳, 鈴木伸一 2012 うつ病休職者の職場復帰の困難感と社会機能およびうつ症状との関連 -職場復帰の困難感尺度の作成- 行動療法研究, 38(1), 35-45.
- ・ 田上明日香, 伊藤大輔, 清水 馨, 大野真由子, 兼子唯, 白井麻理, 貝谷久宣, 熊野宏昭, 鈴木伸一 2012 うつ病研究の現状紹介 認知行動療法とリワークプログラム Depression Frontier, 10(1), 81-87.
- ・ 巢山晴菜, 大月友, 伊藤大輔, 兼子唯, 中澤佳奈子, 清水悠, 鈴木伸一 2012 社交不安に対するビデオフィードバックの効果 -パフォーマンスの解釈バイアスの観点からの検討- 行動療法研究, 38(1), 11-22.

#### 学外における社会貢献

- ・ 2012. 3. 11 田上新町餅つき大会への協力 (学生クルーの指導)
- ・ 2012. 5. 23 杜の里まつりのミーティングに参加 (学生クルーの指導)
- ・ 2012. 8. 2 杜の里まつりのミーティングに参加 (学生クルーの指導)
- ・ 2012. 8. 4 田上新町夏祭りへの協力 (学生クルーの指導)
- ・ 2012. 10. 6 杜の里まつりへの協力 (学生クルーの指導)



- ・ 2012. 9. 18 金沢認知行動療法研究会 講師「うつ病に対する認知行動療法の実践とエビデンス」

## 清水 美保

### 学内委員会など

- ・ 金沢大学産業医
- ・ 金沢大学角間地区事業場安全衛生委員会委員
- ・ 金沢大学安全衛生マネジメント委員会委員
- ・ 金沢大学微生物等安全管理委員会委員

### 学内での教育的活動

- ・ 医学部腎臓内科系統講義「膠原病と腎疾患」（後期，宝町）1コマ担当

### 学内での診療活動

- ・ 附属病院腎臓内科外来担当
- ・ 附属病院血液浄化療法部担当

### 学内講演

- ・ 学生部公認サークル熱中症講習会「救急蘇生法と熱中症対策（AED の使い方を含めて）」（2012. 6. 21, 2012. 7. 4）

### 学会発表

- ・ 清水美保, 遠山直志, 原章規, 北川清樹, 古市賢吾, 吉村光弘, 木田寛, 横山仁, 和田隆志：2型糖尿病に伴う糖尿病性腎症の臨床病理学的所見と予後に関する検討，第55回日本糖尿病学会年次学術集会，横浜（2012. 5. 19）
- ・ 清水美保, 遠山直志, 古市賢吾, 吉村光弘, 木田寛, 和田隆志：高齢糖尿病性腎症例の臨床病理学的特徴，第24回日本糖尿病性腎症研究会，東京（2012. 12. 1）
- ・ 共同演者 16題

### 学会における貢献

- ・ 日本内科学会 認定医，専門医
- ・ 日本腎臓学会 専門医
- ・ 日本透析医学会 専門医
- ・ 日本アフェレシス学会 専門医
- ・ 日本リウマチ学会 専門医
- ・ 日本病態栄養学会 会員

### 論文，報告書等

#### （論文）

- ・ Wada T, Shimizu M, Yokoyama H, Iwata Y, Sakai Y, Kaneko S, Furuichi K: Nodular lesions and mesangiolysis in diabetic nephropathy. Clin Exp Nephrol. 2012 Oct 26 DOI: 10.1007/s10157-012-0711-6

#### （総説，その他）

- ・ 和田隆志, 清水美保：糖尿病性腎症．症例と病理からひもとく腎臓病，医薬ジャーナル社，2012
- ・ 清水美保, 和田隆志：骨髄移植に伴う腎病変．症例と病理からひもとく腎臓病，医薬ジャーナル社，2012
- ・ 清水美保, 古市賢吾, 横山仁, 和田隆志：新臨床糖尿病学（下）－糖尿病学の最新動向－糖尿病性腎症の病態，予後検討のためのレジストリー運用の現状．日本臨牀 70（増刊号5）：424-427，2012

- ・ 清水美保, 和田隆志: 糖尿病性腎症への挑戦 糖尿病性腎症の治療の新展開 新しい機序の治療薬開発の期待される可能性. 腎と透析 73 (2): 238-242, 2012
- ・ 清水美保, 和田隆志: 糖尿病性腎症の管理に必要な臨床検査成績の読み方 尿中アルブミン. 糖尿病性腎症の病態に基づいた栄養管理, 指導のコツ, 診断と治療社, 2012
- ・ 清水美保, 和田隆志: 腎症の病期分類. 糖尿病腎症のすべて, 中山書店, 2012
- ・ 清水美保, 和田隆志: CKD の概念 糖尿病性腎症病期分類とCKD 重症度分類はどのように使い分けるのがいいのでしょうか?. CKD 診療ガイド 2012 Q&A, 診断と治療社, 2012

#### 学外講演

- ・ 慢性腎臓病 (CKD) を知る. 第 25 回中部地区生理検査研修会, 金沢 (2012. 2. 25)
- ・ CKD の指導に必要な病態理解, 生活指導の基本. 石川県栄養士会生涯学習研修会, 金沢 (2012. 6. 10)
- ・ 糖尿病性腎症の臨床病理学的所見と予後. 富山臨床内科セミナー, 富山 (2012. 7. 26)
- ・ 糖尿病性腎症の病態. 石川県糖尿病療養指導士研究会, 金沢 (2012. 11. 25)

## 坪川 俊成

#### 学内委員会など

- ・ 安全衛生委員会 委員
- ・ 医療安全マネージメント委員会 委員

#### 学内での教育的活動

(学部)

- ・ 医学類 循環器内科講義 「心血管インターベンション治療 冠動脈、末梢血管」  
◇ 2012 前期 4/20 担当
- ・ 学生部 熱中症対策, AED の使い方 - 2012 年 2 回

#### 学会発表

(シンポジウム)

- ・ Tsubokawa T, Nakanishi C, Tagawa S, Takabatake S, Shimojima M, Yoshida S, Hayashi K, Kawashiri T, Yamagishi M  
Impact of Simultaneous Determination of Early and Late Endothelial Progenitor Cells on Evaluation of Coronary Artery Diseases  
セッションテーマ: 動脈硬化のバイオマーカーの臨床的意義  
日本循環器学会総会 福岡 2012/03/18 シンポジウム 3

(海外発表)

- ・ Tsubokawa T, Nakanishi C, Tagawa S, Takabatake S, Shimojima M, Hayashi K, Kawashiri M, Yamagishi M  
Impact of Pitavastatin Pretreatment on Survival and Functional Activities of Mesenchymal Stem Cell: Possible Implication for Cell Transplantation Therapy  
American College of Cardiology 2012 : 61th Annual Scientific Session and i2 Summit 2012 March 24
- ・ Takabatake S, Tsubokawa T, Nakanishi C, Tagawa S, Shimojima M, Yoshida S, Hayashi K, Kawashiri M, Matsuda T, Yamagishi M : Acceleration of High Quality Re-endothelialization by Capturing Circulatory Endothelial Progenitor Cells by Newly Developed Endothelial Growth Factor-bound Stent in Porcine Coronary Models  
Catheter-Based Coronary Interventions: Experimental and New Technology III  
American Heart Association scientific session 2012 Nov 7

(ポスター発表)

- ・ 坪川俊成, 中西千明, 高島周, 下島正也, 吉田昌平, 林研至, 川尻剛照, 山岸正和  
ピタバスタチンによる間葉系幹細胞の生存と機能亢進の効果：細胞移植治療応用への可能  
日本再生医療学会総会 横浜 2012/6/14

学外における貢献

- ・ 日本循環器学会 会員
- ・ 日本心臓病学会 会員
- ・ 日本内科学会 会員

研究助成等

- ・ ほくりく健康創造クラスター：医工融合による動脈硬化の診断と治療の先導的研究／血管内皮前駆細胞捕捉ステントの開発 (分担) 坪川, 山岸

## 今野 哲雄

学内委員会など

- ・ 宝町鶴間地区産業医

学内での教育的活動

(医学部医学科)

- ・ 心筋症の臨床 2012 前期 4/19 担当

学会発表

(招待講演)

- ・ 今野哲雄 教育セミナー「心筋症診断における心臓 MRI の役割と有用性」第 28 回 日本心臓病学会主催教育セミナー, 2012

(シンポジウム)

- ・ 今野哲雄 「肥大型心筋症の心筋線維化検出における右室心内膜下心筋生検とカトリウム遅延造影心臓 MRI の精度に関する比較検討」第 60 回日本心臓病学会学術集会, 2012, 金沢

(一般演題)

- ・ Konno T, Hayashi T, Tsubokawa T, Masuta E, Uchiyama K, Fujino N, Yamagishi M.  
Diagnostic Values of Myocardial Biopsy for Predicting Fibrotic Involvement of the Whole Hypertrophic Cardiomyopathy Heart in the Era of Cardiac Magnetic Resonance Imaging  
The 76<sup>th</sup> Japanese Circulation Society's Annual Scientific Meeting, 2012.

学外における貢献

- ・ 日本心臓病学会 教育委員
- ・ 日本肺循環学会 評議員
- ・ 日本循環器学会 専門医
- ・ 日本内科学会 認定医
- ・ 日本医師会 産業医

研究助成等

- ・ 今野哲雄 (研究代表者) 「心筋ミオシン軽鎖キナーゼ変異による新しい心筋症発症機序の解明」研究期間 2012 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日. 文部科学省科研費 若手 (B)

論文, 報告書等

(論文)

- Fujino N, Konno T, Hayashi K, Hodatsu A, Fujita T, Tsuda T, Nagata Y, Kawashiri MA, Ino H, Yamagishi M. Impact of Systolic Dysfunction in Genotyped Hypertrophic Cardiomyopathy. *Clin Cardiol*. 2012 Nov 29. (in press)
- Yamamoto R, Kawashiri MA, Tada H, Tsubokawa T, Uchiyama K, Konno T, Hayashi K, Saito T, Ohta K, Yachie A, Yamagishi M. Anomalous origin with myocardial bridging in coronary artery: stealth images in computed tomography. *J Am Coll Cardiol*. 2012 Dec 11;60(23):2419.
- Liu L, Hayashi K, Kaneda T, Ino H, Fujino N, Uchiyama K, Konno T, Tsuda T, Kawashiri MA, Ueda K, Higashikata T, Shuai W, Kupersmidt S, Higashida H, Yamagishi M. A novel mutation in the transmembrane nonpore region of the KCNH2 gene causes severe clinical manifestations of long QT syndrome. *Heart Rhythm*. 2012 Sep 23. doi:pii: S1547-5271(12)01064-8.
- Sakamoto A, Kawashiri M, Ishibashi-Ueda H, Sugamoto Y, Yoshimuta T, Higashikata T, Ogino H, Tada H, Konno T, Hayashi K, Yamagishi M.
- Expression and Function of Ephrin-B1 and Its Cognate Receptor EphB2 in Human Abdominal Aortic Aneurysm. *Int J Vasc Med*. 2012;2012:127149.
- Tada H, Kawashiri MA, Tanaka A, Nakano T, Nakajima K, Inoue T, Noguchi T, Nakanishi C, Konno T, Hayashi K, Nohara A, Inazu A, Kobayashi J, Mabuchi H, Yamagishi M. Post-prandial remnant lipoprotein metabolism in autosomal recessive hypercholesterolaemia. *Eur J Clin Invest*. 2012 Oct;42(10):1094-9.
- Shimojima M, Kawashiri MA, Nitta Y, Yoshida T, Katsuda S, Kaku B, Taguchi T, Hasegawa A, Konno T, Hayashi K, Yamagishi M. Rapid changes in plaque composition and morphology after intensive lipid lowering therapy: study with serial coronary CT angiography. *Am J Cardiovasc Dis*. 2012;2(2):84-8.
- Tada H, Masuta E, Mori M, Tsubokawa T, Konno T, Hayashi K, Uchiyama K, Kawashiri MA, Tomita S, Watanabe G, Yamagishi M. Perfect correspondence of mitral valve perforation using real-time 3-dimensional transesophageal echocardiography. *J Am Coll Cardiol*. 2012 May 22;59(21):1914.
- Yoshida S, Miwa K, Matsubara T, Yasuda T, Inoue M, Teramoto R, Okada H, Kanaya H, Hayashi K, Konno T, Kawashiri MA, Yamagishi M. Stress-induced takotsubo cardiomyopathy complicated with wall rupture and thrombus formation. *Int J Cardiol*. 2012 Nov 1;161(1):e18-20.
- Tada H, Kawashiri MA, Ikewaki K, Terao Y, Noguchi T, Nakanishi C, Tsuchida M, Takata M, Miwa K, Konno T, Hayashi K, Nohara A, Inazu A, Kobayashi J, Mabuchi H, Yamagishi M. Altered metabolism of low-density lipoprotein and very-low-density lipoprotein remnant in autosomal recessive hypercholesterolemia: results from stable isotope kinetic study in vivo. *Circ Cardiovasc Genet*. 2012 Feb 1;5(1):35-41.
- Kawashiri MA, Nohara A, Noguchi T, Tada H, Nakanishi C, Mori M, Konno T, Hayashi K, Fujino N, Inazu A, Kobayashi J, Mabuchi H, Yamagishi M. Efficacy and safety

of coadministration of rosuvastatin, ezetimibe, and colestimide in heterozygous familial hypercholesterolemia. Am J Cardiol. 2012 Feb 1;109(3):364-9.

- Tada H, Kawashiri MA, Sakata K, Takabatake S, Tsubokawa T, Konno T, Hayashi K, Uchiyama K, Ino H, Yamagishi M. Impact of out-stent plaque volume on in-stent intimal hyperplasia: results from serial volumetric analysis with high-gain intravascular ultrasound. Int J Cardiol. 2012 Jul 12;158(2):235-9.

#### 学外における社会貢献

(勉強会や研究会での招待講演等)

- 今野哲雄 「高血圧患者におけるコニールを基礎薬とした併用療法の脳心血管系イベントの予防効果」 COPE trial 研究会, 2012, 金沢
- 今野哲雄 「心不全におけるトルバプタンの利尿効果予測因子に関する検討」 水利尿を考える研究会, 2012, 金沢
- 今野哲雄 「糖尿病合併高血圧患者における降圧療法」 金沢高血圧研究会, 2012, 金沢
- 今野哲雄 「肥大型心筋症における心筋線維化の成因」 金沢心不全研究会, 2012, 金沢
- 今野哲雄 「心肥大から心不全への進展機序と治療戦略」 小矢部市医師会勉強会, 2012, 小矢部
- 今野哲雄 「肥大型心筋症の心筋線維化検出における Fragmented QRS の診断精度」 厚生労働省難治性疾患克服研究事業特発性心筋症に関する調査研究 班会議, 2012, 大阪
- 今野哲雄 「病態に基づいた心不全の治療戦略」 循環器, 代謝疾患研究会, 2012, 金沢

#### 丸田 高広 (協力研究員)

##### 学会における貢献

- 日本神経免疫学会 評議員
- 日本神経学会 専門医, 指導医, 東海北陸地方会幹事
- 日本認知症学会 専門医, 指導医
- 日本人間ドック学会 専門医, 認定医
- 日本内科学会 認定医
- 日本神経治療学会 会員
- 日本臨床神経生理学会 会員
- 日本脳ドック学会 会員
- 日本頭痛学会 会員

##### 学外講演

- 石川県庁/金沢西警察署 シルバー安全講習会 講師 2012.11.10 金沢市
- 金沢, 市民の健康を守る会 公開講座 「認知症について」 講師 年間を通じて多数回開催 金沢市

##### 特許

- 特許公開 2012-105734、特許出願 2010-255231、出願日 2010.11.15、出願者：金沢大学、発明者：吉川弘明、角弘諭、丸田高広、発明内容：脳密度表示装置、脳密度測定方法、及びプログラム

## 2. スポーツ教育部門

### 北浦 孝

#### 学内委員会など

- ・ 共通教育「身体・スポーツグループ」幹事
- ・ 体育施設管理運営ワーキンググループ、委員

#### 学内での教育的活動

- ・ 「リフレッシュスポーツ・実技」(前期) 1コマ 16回/16週を担当
- ・ 「ソフトボール・実技」(前期) 1コマ 16回/16週を担当
- ・ 「集中：野外活動・実技」(前期) 1コマ 16回/16週を担当
- ・ 「スポーツ生命科学実験・ゼミ」(前期) 1コマ 16回/16週を担当
- ・ 「バスケットボール・実技」(後期) 2コマ 16回/16週を担当
- ・ 「Jog&Circuit トレーニング・実技」(後期) 1コマ 16回/16週を担当
- ・ 「パワートレーニング・演習」(後期) 1コマ 16回/16週を担当
- ・ 「集中：初心者スキー・実技」(前期) 1コマ 16回/16週を担当
- ・ アメリカンフットボール部 顧問
- ・ チア・リーダー部 顧問
- ・ アスレチックトレーナー部 顧問

#### 学会における貢献

- ・ アメリカスポーツ医学会 評議員 (Fellow)
- ・ 日本体力医学会 評議員
- ・ 日本生理学会 会員
- ・ 日本生物物理学会 会員
- ・ 日本薬理学会 会員
- ・ 日本生化学会 会員

#### 論文・報告書等

(報告書)

- ・ 平成 21-23 年度科学研究費補助金(基盤研究(C))「ドーピング規制薬物(アドレナリン受容体作動薬)の影響における分子機構の解明」
- ・ 保健管理センター年報・紀要 第5号「平成24年度の金沢大学における文部科学省体力テストの評価」

#### 論文査読

- ・ 英文雑誌 2件 J. Physiol. Sciences, J. Pharmac. Pharmacol.

#### 学外における役職

- ・ 石川県アメリカンフットボール協会 理事長
- ・ 北陸アメリカンフットボール協会 副理事長

### 寶學 淳郎

#### 学内委員会など

- ・ 共通教育「身体・スポーツグループ」幹事代表
- ・ 共通教育教務・学生委員会委員
- ・ 共通教育総合科目・テーマ科目・一般科目企画部会委員
- ・ 学生生活部会委員

## 学内での教育的活動

(学部)

- ・ スポーツの歴史 (2012、前期、15コマ/15を担当)
- ・ 身体・スポーツ実技 サッカー (2012、前期、1クラス、15コマ/15を担当)
- ・ 身体・スポーツ実技 フットサル&サッカー (2012、前期、1クラス、15コマ/15を担当)
- ・ 身体・スポーツ実技 リフレッシュスポーツ (2012、前期、15コマ/15を担当)
- ・ 身体・スポーツ実技 野外活動 (2012、前期集中、15コマ/15を担当)
- ・ 身体・スポーツ実技 初心者テニス (2012、後期、15コマ/15を担当)
- ・ 身体・スポーツ実技 フットサル&サッカー (2011、後期2クラス、15コマ/15を担当)
- ・ 身体・スポーツ実技 初心者スキー (2012、後期集中、15コマ/15を担当)

(大学院-教育学研究科)

- ・ 保健体育科教科内容特論 F (2012、前期、15コマ/15を担当)
- ・ 教育実践基礎研究 A (2012、前期、3コマ/15を担当)
- ・ 課題研究 I (2012、前期、15コマ/15を担当)
- ・ 保健体育科教科内容研究演習 F (2012、後期、15コマ/15を担当)
- ・ 課題研究 II (2012、後期、15コマ/15を担当)
- ・ 教育実践応用研究 B (2012、前期、15コマ/15を担当)

## 学会における貢献

- ・ 日本体育学会体育史専門分科会 理事及び学会誌編集委員 2010
- ・ 東北アジア体育・スポーツ史学会 日本支部理事 2012
- ・ 日本スポーツ産業学会 スポーツ産業史専門分科会 運営委員 2012
- ・ 日本体育学会 学会誌編集委員 2012
- ・ スポーツ史学会会員

## 学会論文査読

- ・ 2012年度「体育学研究」 3編

## 論文・報告書等

- ・ 寶學淳郎、ソビエト占領地区/東ドイツにおけるスポーツに関する諸規定に関する歴史的研究、平成23年度筑波大学体育史研究会、2011.2、茨城。
- ・ 寶學淳郎、ドイツ再統一後の旧東ドイツスポーツジャーナリスト K. フーンの言説—2つの自叙伝的著作とインタビューで語られたことを中心に—、体育・スポーツ史の世界—大地と人と歴史の対話』所収、溪水社、2012.2、427-446頁。
- ・ 寶學淳郎、旧東ドイツスポーツ関係者の言説—自叙伝的著作(2001-2007年)の分析を中心に—、体育史研究、第29号、2012.3、19-30頁。

## 村山 孝之

### 学内での教育的活動

<正課授業>

共通教育

- ・ ゼミ/身体運動心理学 (2011年度) 後期: 1コマ 15回/15週を担当
- ・ 身体・スポーツ実技/バドミントン (2011年度) 後期: 2コマ 15回/15週を担当
- ・ 身体・スポーツ実技/ソフトテニス&バドミントン (2011年度) 後期: 1コマ 15回/15週を担当

- ・ゼミ／身体運動心理学 (2012年度) 前期：1コマ 15回/15週を担当
- ・身体・スポーツ実技／ソフトテニス中上級 (2012年度) 前期：1コマ 15回/15週を担当
- ・身体・スポーツ実技／バドミントン (2012年度) 前期：1コマ 15回/15週を担当
- ・身体・スポーツ実技／野外活動 (2012年度) 集中講義：1コマ 担当
- ・メンタルトレーニング 講義 (2012年度) 後期：1コマ 15回/15週を担当
- ・身体・スポーツ実技／バドミントン (2012年度) 後期：2コマ 15回/15週を担当
- ・身体・スポーツ実技／ソフトテニス&バドミントン (2012年度) 後期：1コマ 15回/15週を担当
- ・身体・スポーツ実技／初心者スキー (2012年度) 集中講義：1コマ 担当

#### 学域・学類 (人間社会学域地域創造学類)

- ・スポーツ心理学 講義 (2012年度) 前期：1コマ 15回/15週を担当

#### 大学院 (教育学研究科)

- ・保健体育科教科内容研究演習 E (2011年度) 後期：1コマ 15回/15週を担当
- ・保健体育科教科内容研究特論 E (2012年度) 前期：1コマ 15回/15週を担当
- ・保健体育科教科内容研究演習 E (2012年度) 後期：1コマ 15回/15週を担当
- ・教育実践基礎研究 (2011年度) 前期：1コマ 3回/15週を担当
- ・課題研究 I (2012年度) 前期：15回/15週を担当
- ・課題研究 II (2011年度) 前期：15回/15週を担当
- ・教育実践応用研究 B (2012年度) 後期：15回/15週を担当

#### <課外活動>

- ・ソフトテニス部顧問

#### 学内委員会など

- ・体育施設管理運営ワーキング・グループ委員
- ・共通教育「身体・スポーツグループ」幹事
- ・平成24年度文系センター代議員 (保健管理センター職場連絡員)

#### 学会における貢献

- ・日本スポーツ心理学会 会員
- ・国際スポーツ心理学会 会員
- ・北米スポーツ心理学会 会員
- ・日本体育学会 会員
- ・日本認知心理学会 会員
- ・北陸体育学会 会員
- ・運動学習研究会 会員
- ・身体知研究会 会員
- ・平成24年度日本スポーツ心理学会第39回大会 事務局長

#### 論文査読

- ・2012年度「体育学研究」1編

#### 論文・報告書など

(原著論文)

- ・村山孝之, 関矢寛史 (2012) 「あがり」の要因と要因間の関係性. 体育学研究, 57: 595-611.
- ・Tanaka, Y, Funase, K, Sekiya, H, and Murayama, T (2012). Modulation of corticospinal motor tract excitability during a fine finger movement under psychological pressure: a TMS study. International Journal of Sport and Health Science, 10: 39-49.

(総説論文)



- ・ 吉江路子, 田中美吏, 村山孝之, 工藤和俊, 関矢寛史 (2012) “あがり” とファインモーターコントロール. バイオメカニクス研究, 15:167-173.

(報告書)

- ・ 村山孝之 (2012) 競り合いに勝つためのメンタルトレーニング. 平成 23 年度いしかわ科学的トレーニング特別強化事業報告書 (石川県教育委員会), p. 29.

#### 研究助成・学術賞など

- ・ 平成 23 年度北陸体育学会「優秀研究奨励賞」  
村山孝之, 関矢寛史 (2012) スポーツにおける「あがり」の発現機序. 北陸体育学会.
- ・ 科学研究費補助金 若手研究 (B) 平成 22~24 年度「「あがり」の発現機序の解明：運動スキルの閉鎖—開放次元に着目して」研究代表者：村山孝之

#### 学外講演

- ・ 2012. 12. 9 平成 24 年度石川県スポーツトレーナー養成講習会 テーマ：スポーツ心理学 (いしかわ総合スポーツセンター) 講師
- ・ 2012. 10. 20 平成 24 年度石川県体育協会ジュニア競技育成事業メンタルトレーニング講習会 2 テーマ：実力を発揮するためのメンタルトレーニング (いしかわ総合スポーツセンター) 講師
- ・ 2012. 9. 23 平成 24 年度石川県体育協会ジュニア競技育成事業メンタルトレーニング講習会 1 テーマ：競技力向上のためのメンタルトレーニング (いしかわ総合スポーツセンター) 講師
- ・ 2012. 9. 5 平成 24 年度 TIAC 第 4 回心理セミナー&強化塾 テーマ：スランプからオリンピック出場までの道のり／中川真依 ～メンタルトレーニングはどう機能したか～ (いしかわ総合スポーツセンター) 講師
- ・ 2012. 7. 4 平成 24 年度 TIAC 第 3 回心理セミナー&強化塾 テーマ：ポジティブシンキングと自信を身につけるテクニック ～「性格」とあきらめてはいけない！～ (いしかわ総合スポーツセンター) 講師
- ・ 2012. 6. 30 ツエーゲン金沢 能登ジュニアユース講習会 テーマ：メンタルトレーニングで意識を高めよう！ (和倉温泉多目的グラウンド会議室) 講師
- ・ 2012. 6. 6 平成 24 年度 TIAC 第 2 回心理セミナー&強化塾 テーマ：プレッシャーによる「あがり」を防ぐテクニック (いしかわ総合スポーツセンター) 講師
- ・ 2012. 5. 2 平成 24 年度 TIAC 第 1 回心理セミナー&強化塾 テーマ：パフォーマンス 発揮のためのメンタルトレーニング ～SMT の導入に向けて～ (いしかわ総合スポーツセンター) 講師
- ・ 2012. 3. 30 宇ノ気中学校講演 テーマ：パフォーマンス発揮のためのメンタルトレーニング (宇ノ気中学校)

#### 学外における社会貢献活動

- ・ 石川県教育委員会「いしかわ科学的トレーニング特別強化事業」科学的トレーニング専門グループ委員 (2009～)
- ・ 平成 24 年度日本オリンピック委員会強化スタッフ (2012～)
- ・ 日本ソフトテニス連盟医科学委員 (2011～)
- ・ 歩育推進ネットワークいしかわ研究調査部会委員 (2012～)
- ・ 財団法人 北陸体力科学研究所 評議員 (2010～)
- ・ 北陸大学 非常勤講師 (2010～)
- ・ 金沢学院大学 非常勤講師 (2012～)
- ・ 北陸学生ソフトテニス連盟会長 (2010～)